

単位:千円

政策 目標	重点 課題	頁	主 要 事 業	所 管 部	事業費
4. みんなで行動する環境の街					
低炭素社会の推進と循環型社会の構築					
	P48		エネルギー施策の検討・推進関連	政策企画部	12,500
				都市計画部	14,000
	P49		廃棄物処理施設整備計画策定調査	環境事業部	20,000
	P50		太陽光発電関連	環境都市推進部	110,000
	P51		再生可能エネルギー蓄電システム事業	環境都市推進部	42,000
	P52		省エネ型冷蔵庫買替キャンペーン事業	環境都市推進部	75,000
	P53		札幌省エネアクションプログラム事業	環境都市推進部	126,000
多様で豊かな自然を守り、育てるまちづくり					
	P54		動物園施設整備関連 その1	円山動物園	1,453,000
				環境都市推進部	31,600
	P55		動物園施設整備関連 その2	円山動物園	109,900

エネルギー施策の検討・推進関連

(単位：千円)

目的

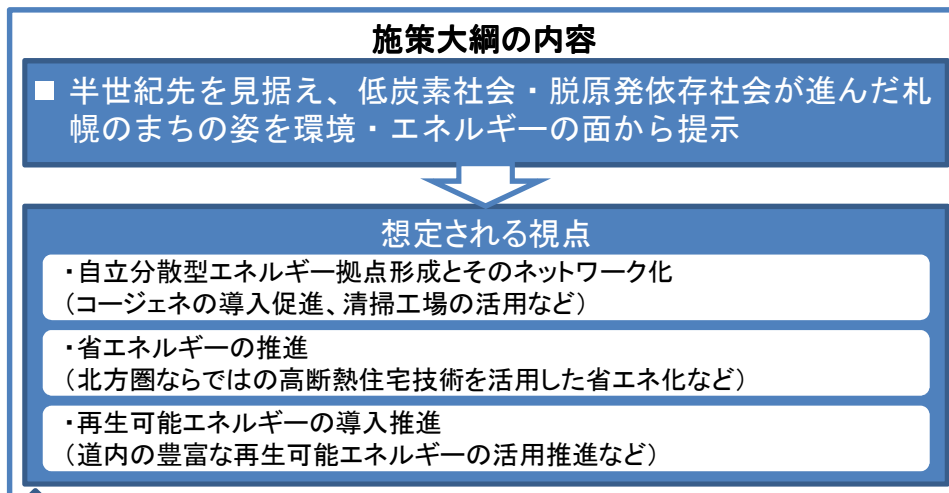
低炭素社会と脱原発依存社会の実現を目指し、札幌市のエネルギー施策を総合的に展開

①エネルギー戦略推進事業

[事業費：12,500千円]

- ・市民向けパンフレット作成 300千円
- ・施策大綱の策定及び新たな施策の調査検討 12,200千円

【エネルギー施策大綱の策定】



北海道大学の専門的な知見

・地域連携協定（H25.7締結）に基づき、北大の有する専門的な知見を活用

	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
①	事業費 13,000	20,300	12,500	12,500
	(うち一般財源) (13,000)	(20,300)	(12,500)	(12,500)
②	事業費 14,000	18,000	14,000	14,000
	(うち一般財源) (14,000)	(18,000)	(14,000)	(14,000)
査定の考え方	【財政局査定】 ①委託業務及び事務費の精査(▲7,800) ②事務費の精査及び検討業務につき過去の実績を勘案(▲4,000) 【最終査定】 財政局査定のとおり			

②都心エネルギー施策検討

[事業費：14,000千円]

- ・施策検討業務 14,000千円

【都心エネルギー施策の検討内容】

- 積雪寒冷地「札幌」にふさわしい取組
 - ・エネルギー需要量の4割以上を占める「熱」に着目
 - ・「熱」と「電力」の効率的な利用を目指す
- 将来像の設定
 - ・平成25年度の基礎調査結果に基づき、都心が目指すべき将来像と目標値の設定
 - ・実現するために必要な条件の整理
- 実現手法の検討
 - ・熱需要家、熱供給者へのインセンティブ
 - ・大規模再開発、小規模ビル建替に適した方法
 - ・行政と民間の役割分担
 - ・規制緩和、制度、推進特区、モデル地区など
 - ・北欧などの先進的な取組も参考に、上記を組み合わせた施策のシミュレーション



都心エネルギーネットワークの将来イメージ

※EC:エネルギーセンターのこと

実現性の高い施策に基づき、戦略的な展開を目指す

廃棄物処理施設整備計画策定調査

環)環境事業部

(単位：千円)

目的

駒岡清掃工場の更新に向けて、安定的なごみ処理体制の維持に加え、効率的なエネルギー回収システムの導入による更なる廃棄物発電や熱利用の推進策を検討

事業内容

[事業費：20,000千円]

駒岡清掃工場の更新計画策定に向けた、基本構想に対する専門委員会からの意見聴取、環境影響評価手続きに伴う配慮書の作成、事業予定地の確定測量、新資源化技術導入調査

- ・ 清掃工場更新基本構想検討委員会運営支援業務 3,000千円
- ・ 環境影響評価配慮書作成等 8,000千円
- ・ 事業予定地確定測量 3,000千円
- ・ 新資源化技術導入調査 5,000千円
- ・ 事務費等 1,000千円

	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
事業費	25,000	33,484	15,000	20,000
(うち一般財源)	(25,000)	(33,484)	(15,000)	(20,000)
査定の考え方	【財政局査定】 過去実績と業務内容見直しにより精査(▲6,050) 新資源化技術導入調査研究については計上見送り(▲12,434) 【最終査定】 新資源化技術導入調査費を計上(+5,000)			

駒岡清掃工場更新の将来イメージ



※写真は現駒岡清掃工場

更新計画

- ・ 最新鋭の公害対策設備
- ・ 災害に強い強固な建築構造
- ・ 高効率なエネルギー回収
- ・ 施設の省エネルギー化
- ・ 新たなバイオマスエネルギー活用
- ・ 環境教育の拠点化



※写真はイメージ(現白石清掃工場)

項目	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36
基本構想	●————●											
専門委員会・基本計画		●-----●				●————●						
基本設計・工事発注						●————●						
清掃工場建設							●————●					稼働開始
用地取得	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
環境影響評価	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

目的

原子力発電に依存しない社会を目指し、大規模再生可能エネルギーの普及を促進

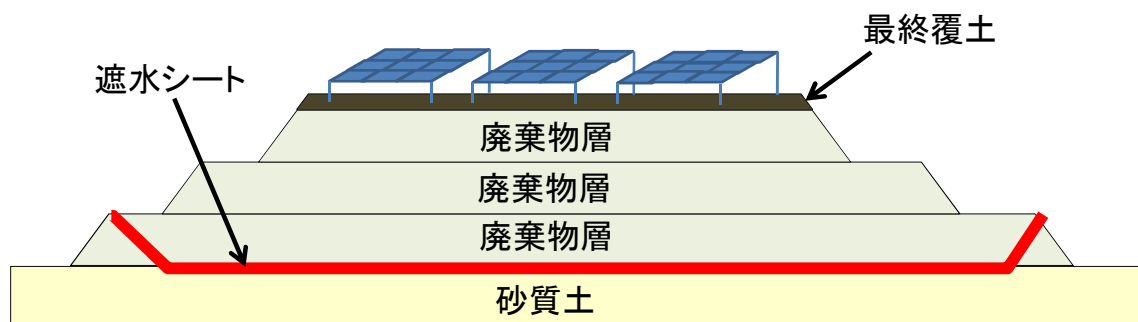
①埋立跡地太陽光発電誘致事業【新規】

[事業費：10,000千円]

ごみ埋立跡地における民間事業者による太陽光発電設備設置に向けた調査
(面積3ha 発電容量最大800kWを想定)

- ごみ埋立跡地に太陽光発電設備を設置するための地盤調査費用

10,000千円



埋立跡地断面図

(単位：千円)

	H25予算	H26予算			
		要求額	財政局査定額	最終査定額	
①	事業費	0	21,150	10,000	10,000
	(うち一般財源)	(0)	(21,150)	(10,000)	(10,000)
②	事業費	100,000	100,000	100,000	100,000
	(うち一般財源)	(0)	(100,000)	(0)	(0)
査定の考え方		【財政局査定】 ①民間での事業化が可能と判断し、調査費以外は計上見送り (▲11,150) ②特定財源(基金からの繰入金)を充当 【最終査定】 財政局査定のとおり		②特定財源 繰入金 100,000	

②大規模太陽光発電推進事業

[事業費：100,000千円]

民間事業者がメガソーラー等を設置する際の、設備設置費用及び緑化等に係る経費の一部を補助

【補助対象者】

札幌市内に大規模太陽光発電設備を設置する者

【補助対象設備】

経産省に設備認定を受けた大規模太陽光発電設備

【補助金額】

設備設置費用の5%、上限20,000千円×5件

- 補助金総額 100,000千円

～みんなで行動する環境の街～

再生可能エネルギー蓄電システム事業【新規】 環)環境都市推進部

(単位：千円)

目的

まちづくりセンターへ、分散型電源である太陽光発電と蓄電設備を組合わせた電力システムを導入

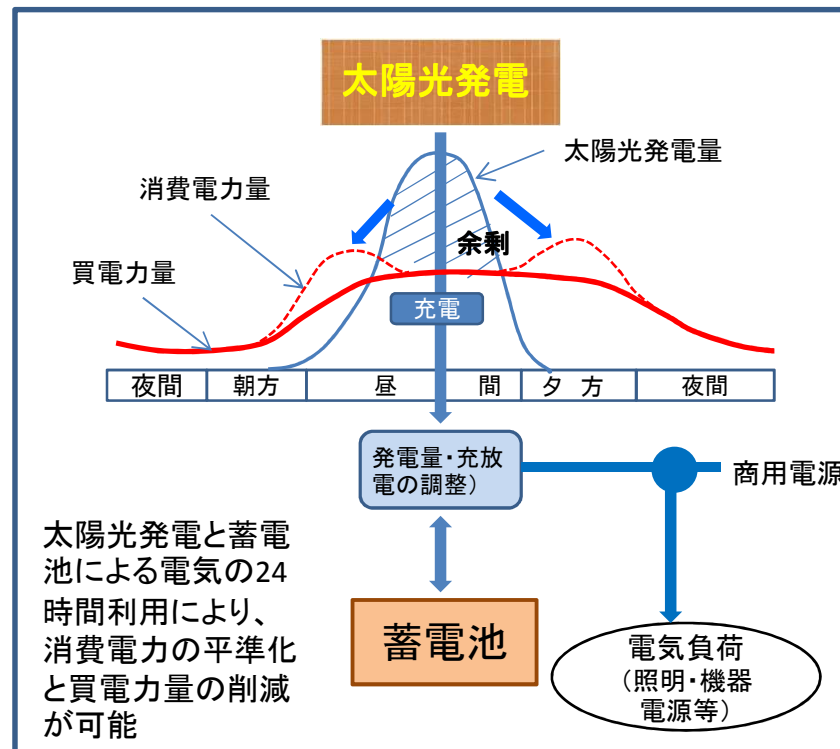
	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
事業費	0	42,000	42,000	42,000
(うち一般財源)	(0)	(6,000)	(6,000)	(6,000)
査定の考え方	【財政局査定】 要求のとおり 【最終査定】 財政局査定のとおり			特定財源 市債 36,000

事業内容

[事業費：42,000千円]

まちづくりセンターにおいて、消費電力のピークカットや災害停電時等における24時間使用可能な分散型電源として、太陽光発電(5kW)と蓄電池による電力供給の有効性を確認して、見える化により市民への普及啓発を実施

- ・設置工事：幌北、西岡、北野まちづくりセンター(3施設)
42,000千円



省エネ型冷蔵庫買替キャンペーン事業【新規】 環)環境都市推進部

(単位：千円)

目的

家庭部門での節電を支援するため、節電効果の高い冷蔵庫への買替を促進するとともに、地域経済の活性化を促進

事業内容

[事業費：75,000千円]

省エネ基準4つ星以上かつ50,000円以上の冷蔵庫に買い替える世帯に対して、5,000円分の地域商品券を交付

- ・ 地域商品券交付：50,000千円 (5,000円×10,000件)
- ・ 委託費等：25,000千円

予想電力削減量

- ・ 1世帯あたり：260kWh/年 (約8.3%※)
- ・ 10,000世帯：2,600MWh/年 (約830世帯の1年分※)

※一般家庭の消費電力：3,120kWh/年 (260kWh/月×12カ月)
北海道電力(株)パンフレットより

	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
事業費	0	77,000	0	75,000
(うち一般財源)	(0)	(77,000)	(0)	(75,000)
査定の考え方		【財政局査定】 冷蔵庫買替のインセンティブとなるのか、費用対効果が不明確(▲77,000) 【最終査定】 補助対象を省エネ基準3つ星以上から4つ星以上の冷蔵庫に変更し事業を実施(+75,000)		



買替

- ・ 省エネ基準 4つ星以上
- ・ 50,000円以上

5,000円分の地域商品券※がもらえる!

申込受付件数：10,000件

※参加を希望し協定を締結した市内商店街で利用可能

目的

市有施設における省エネ技術の標準化及び民間事業者への普及促進等

事業内容

[事業費：126,000千円]

ア 市有施設の省エネ技術の標準化と環境マネジメントシステム(EMS)^{※1}におけるエネルギーマネジメントの強化

- ・計測機器購入 10,000千円
- ・市有施設での実証実験(10施設) 29,840千円
- ・事務費等 2,160千円

イ 市有施設でのエネルギー見える化システム導入(10施設) 70,000千円

ウ 省エネ技術を市域全体に普及するための新たな仕組み作りと民間施設での実証実験

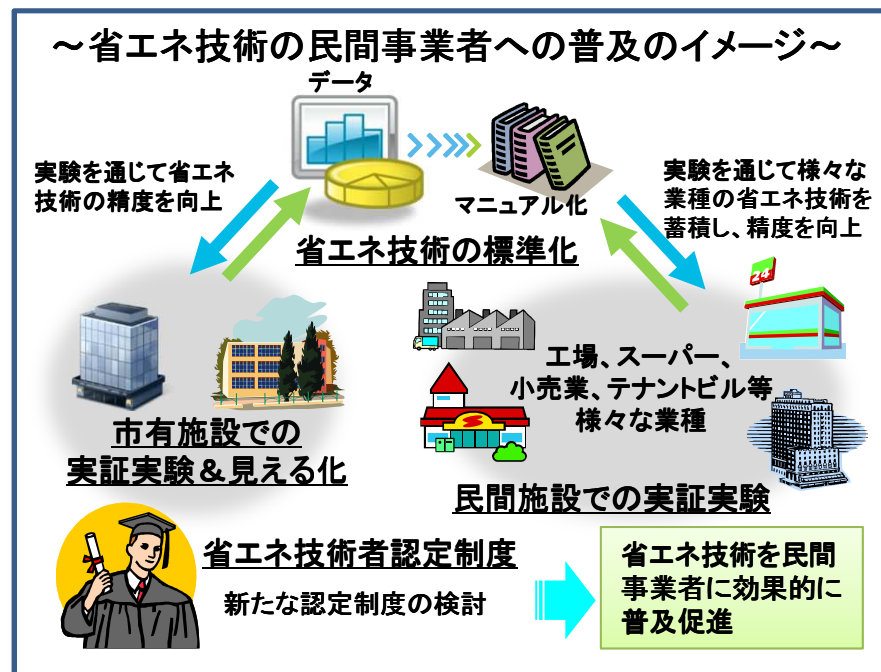
- ・省エネ技術者認定制度の検討調査 2,000千円
- ・民間施設での実証実験(5施設) 12,000千円

～実証実験&見える化の施設数～

	H24	H25	H26
ア 実証実験(市有施設)	6施設	6施設	10施設
イ 見える化(市有施設)	—	(1施設 ^{※2})	10施設
ウ 実証実験(民間施設)	—	—	5施設

(単位：千円)

	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
事業費	18,000	153,778	112,000	126,000
(うち一般財源)	(18,000)	(153,778)	(112,000)	(126,000)
査定の考え方		【財政局査定】 認定制度の位置づけや効果及び民間事業者における実証実験成果の活用法が不明(▲41,778) 【最終査定】 認定制度の検討調査と民間施設での実証実験のための経費を計上(+14,000)		



※1 PDCA(Plan:計画、Do:実行、Check:点検、Action:見直し)サイクルを繰り返すことで、環境に与える影響を低減し、環境保全の取り組みを継続的に改善する仕組み

※2 H25年度は、市役所本庁舎で見える化実験を実施中

動物園施設整備関連 その1

環)円山動物園
環)環境都市推進部

(単位：千円)

目的

アフリカのサバンナや水辺に生息する動物を展示するアフリカゾーンを建設するとともに、太陽光発電や木質バイオマスのペレットボイラーを設置

アフリカゾーン建設

[総事業費：1,729百万円] [事業費：1,453,000千円]－①

- ・建設 H25～26年度 ※H27年度オープン予定
- ・建物 RC造平家建（一部2階建）2,250㎡
- ・展示動物 11種、約30個体
- ・再生可能エネルギー設備

太陽光発電設備(7.5kW) [事業費：12,300千円]－②

ペレットボイラー設備 [事業費：19,300千円]－③

	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
①	事業費 276,222	1,453,000	1,453,000	1,453,000
	(うち一般財源) (69,222)	(553,000)	(553,000)	(553,000)
②	事業費 76,600	12,300	12,300	12,300
	(うち一般財源) (8,600)	(1,300)	(1,300)	(1,300)
③	事業費 0	19,300	19,300	19,300
	(うち一般財源) (0)	(2,300)	(2,300)	(2,300)
査定の考え方		【財政局査定】 ①②③要求のとおり 【最終査定】 財政局査定のとおりに		①特定財源 市債 900,000 ②特定財源 市債 11,000 ③特定財源 市債 17,000

アフリカゾーン全景 (イメージ)



動物園施設整備関連 その2

環)円山動物園

(単位：千円)

目的

日本を代表する「ホッキョクグマの繁殖基地」を目指し、新たに国際的な施設基準に基づいたホッキョクグマ館を建設するほか、老朽化したサル山の改修を実施

	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
① 事業費	15,700	24,169	14,700	14,700
(うち一般財源)	(15,700)	(24,169)	(14,700)	(14,700)
② 事業費	7,489	95,200	95,200	95,200
(うち一般財源)	(2,489)	(95,200)	(95,200)	(95,200)
査定の考え方	【財政局査定】 ①必要経費を精査(▲9,469) ②要求のとおり 【最終査定】 財政局査定のとおり			

①新ホッキョクグマ館建設設計費

[総事業費：約1,800百万円] [事業費：14,700千円]

- ・基本・実施設計 14,700千円
- ・設計：H25～26年度 建設：H27～28年度
- ※H28年度オープン予定



②サル山改修費

[総事業費：136百万円] [事業費：95,200千円]
 (H27債務負担行為：40,800千円)

整備してから31年を経過し、屋外放飼場設備が著しく老朽化しているため改修

- ・建設 H26～27年度 ※H27年度オープン予定

